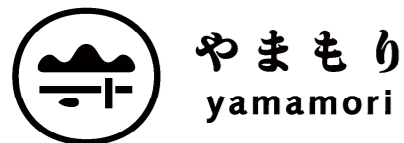


やまもり通信 vol.85

コロナ明け、初の夏休み！
今年は盆踊りや花火大会、夏まつりも各地で行われる様子。
夜店の屋台も楽しみです。



【加子母の情景】夏!草の匂い、青い空と入道雲。



こちら 彩都やまもりです

【住所】箕面市彩都栗生南1-17-26

【彩都やまもり 8・9月 彩輝館ギャラリー展示情報】

「自然の中でリフレッシュ！
緑の絶景と出会う岐阜の山旅」を開催しています

【期間】6月1日(木)～8月28日(月)

※6月21日(水)～6月30日(金)の間中断

夏休みに家族や友人と山歩きやハイキングなど岐阜の自然を満喫できるおすすめスポットや山の魅力をご紹介します。都会の喧騒を離れて、自然の中を歩けばきっと心も身体もリフレッシュできるはず。



【8・9月のイベント情報】

「ミニやまもり市」を開催します

恒例の「産直市」を1日限り、数量限定で開催します。朴葉寿司や大福などの定番商品に加え、加子母トマトやトウモロコシなど夏ならではの加子母の地元野菜も登場する予定です。

【日時】8月4日(日)

9時半～15時頃

※売り切れ次第終了

【場所】彩都やまもり敷地内



「芸術の秋を感じる岐阜の旅」
を開催します

【期間】8月31日(木)～10月19日(木)

芸術の秋。
岐阜県出身の芸術家美術家たちの作品に出会う美術館、博物館めぐりに出かけませんか。
ときにはゆっくりといるんな芸術家の作品に触れて感性を磨くのもいいですね。



「筆ペンアート体験教室」を開催します

7月の体験教室に参加できなかった人も是非!今回のテーマは「ハロウィン」。絵の苦手な人、字がうまくない人でも大丈夫。ほんわりと温か味のある文字や、水筆を使った絵で素敵なカードが作れます。

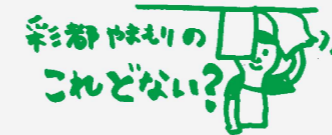


【日時】9月14日(木) 10時～12時

【場所】彩都やまもり 彩輝館会議室

【会費】3000円(材料費込み、ドリンク付き) 【定員】4名

【申込先】彩都やまもり ☎072-739-6046



イラスト入りポストカード

今回ご紹介するのは、この時期ぴったりのサマーカード。暑中見舞いや残暑見舞いにもピッタリのイラスト入りポストカードです。

いろんな絵画展で賞も取っている絵の得意な弊社スタッフが描いてくれました。

ひとことメッセージを添えたカードを暑中見舞いや残暑見舞いとして送ってみては?

もちろんそのままフォトフレームに入れてお部屋に飾るのも素敵ですね。

2枚セット、数量限定で販売しています。

気になる方は彩都やまもりのギャラリーにお越しください。

【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

※最新情報は随時、
彩都やまもり HP
(<https://yamamori.site>) や
facebook でご確認ください。



やまもりHP



やまもりfacebook

彩都やまもり ひとこと日記

岐阜の観光 PR「岐阜の山」
× 遊水窯展「水無月を彩る陶器」

現在、彩都やまもりのギャラリーで展示紹介している「岐阜の山展」。主に、岐阜の山、花などの風景写真で自然の良さをPRしていますが、これに華を添えてくれたのが、遊水窯の皆さんによる陶器展。
6/21(水)～6/30(金)までの約2週間という短い期間でしたが、壁に飾られた岐阜の自然の写真と、遊水窯の皆さんの花器に生けられた木、花が見事にマッチしてとても素敵なコラボ企画となりました。

おかげでギャラリーを訪れる人の中には、山の写真と緑に囲まれた空間を気に入って何度となく足を運ばれるリピーターもいたほどです。中には購入を希望される方もおられたりで大好評でした。

遊水窯の皆さんは毎年いろんな形で作品展をしてくださいますが、コロナを機に少し活動を縮小されているそう。高齢化している?と仰いってもまだまだ元気な皆さんの、アイデアいっぱいの素敵な作品を来年も、そして再来年も見れることを楽しみにしています。



明治座でのんびり

日中お見舞申し上げます。

暑い暑い日が、加子母でも続いています。

ハスメと私は、日中はほぼ毎日、

かしも明治座で過ごしています。

高い天井、大屋根のおかげなのか

ずいぶん涼しく感じます。

谷からスーッと風が吹いてきて、

娘引き幕が揺れるのをながめてみると

ついつい眠気が...

体と心が休まるような気がします。

「ズックとハスメの寝息がすんすん。」

「これまた良い夏時間だと思えます。」



本間希代子 絵描きイラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して25年目。古楽器奏者の夫と娘と日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 <http://tebakko.jp>

関西発会活動けいじ板

神戸・京都・大阪・連合会各岐阜県人会の令和5年度総会を無事終了しました。

《京都岐阜県人会》

4月29日(土)、総会を京都経済センター、懇親会を瓢斗京都四条烏丸店で開催しました。京都岐阜県人会ではコロナの影響で2020年度から3年間にわたって総会・懇親会を中止してきたため、4年ぶりの開催となりました。新入会員も参加して親睦を深めることができました。



《神戸岐阜県人会》

5月28日(日)、神戸三宮東急REIホテルにて開催しました。

総会は高野会長、羽田野事務局長他現行の役員の再任が決まり、収支報告、活動報告を終えた後、懇親会へと進みました。



連合会の徳田昭憲会長代行や中村理事、京都県人会の桂川工会長もご出席いただき、参加者は15名。懇親会は、各自の近況報告の発表もあったりと終始和やかな雰囲気、会員同士の距離も縮まったと思います。最後は、恒例「ふるさと岐阜産直品争奪じゃんけん大

会」で事務局が用意した岐阜の特産品をそれぞれ持ち帰りました。

《大阪岐阜県人会・関西岐阜県人連合会》

6月8日(木)、新大阪ワシントンホテルプラザにて開催しました。今回は、会員同士の相互交流に重きを置くため、来賓は岐阜県からのみに限定、商工労働部の兼松伸和次長にご出席いただきました。今回の出席者は33名。役員改選期ということで、総会では大阪県人会は寺岡龍彦会長の留任、野田邦雄副会長の顧問就任、また関西県人連合会は中島紀子会長の留任、神戸県人会の山田美智子副会長の理事就任ほか現行役員の留任が承認されました。



岐阜県商工労働部 兼松伸和次長

また、昨年の総会で機構改革新設された大阪県人会法人部会は、初代の部会長には頼いわさきの岩崎雅明代表取締役が就任するなどすべての議案が満場一致で承認されました。

なお、新役員体制は連合会の会報「やまもり6月号」に掲載済みです。続く懇親会では、会員の皆さん全員に壇上で自己紹介、近況報告をしていただくなど、笑いあり、和気あいあいとした中で会員同士の交流、親睦を図ることができました。帰りには岐阜県からの『大垣市種田養蜂場のはちみつ』と県人会からの『家康の家紋入り黒油茶碗』を手土産として皆さんに持ち帰っていただきました。

加子母の人 山守日記 18

第76回 手打ち鯉鮎(うどん)を振る舞う

御山守内木彦七の『御山方御用井所持日記』の中から、食べ物の紹介が続いていますが、今回は『麺類』です。

●振る舞いうどん

農休みに入る時、盆礼の時、山型の仕事が終わった時、大勢集まって会合をした時などなど、彦七の家では鯉鮎が作られ「一家中」の者、来客の人々に振る舞われていました。

とはいえ、今のよう乾麺や冷凍麺があるわけではなく、彦七の「一家中」の者たちが中心になって鯉鮎作りをしていました。中でも善右衛門の妻おいくが得意だったようです。

安永二年(一七七三)十一月七日、その年の山方御用の勤めが終了したお祝いが彦七の家で催されました。この日は、おいくが小麦粉を拵えて鯉鮎を作り始め、夫の善右衛門や隣町の大工の小忠次も加わり夕方ようやく出来上がったということ。わあ、ご苦労様です。おいくの父《かぢや》の佐忠次や大工たちに振る舞われました。お祝いの席だったこともあり、かなり多めに作ったのか《下屋》《桑野屋》《富田》の親戚の家々にも贈られることになりました。



●病気の時のうどん
鯉鮎は消化が良く食べやすいので現代でも調子の悪い時や病気の時に食べたりしますが、当時もやっぱり同じ習慣だったようで、彦七の「母人」が病にかかった時にも鯉鮎が作られ、彦七は「母人」に食べさせています。ちなみに作ったのはやっぱり、おいく。おいくさんの鯉鮎、美味しかったんでしょうね。

●蕎麦や素麺も

安永二年九月十八日の夕方、おいくが実家から蕎麦の実をもらって帰ってきました。彦七たちは、早速それを使って夕飯に蕎麦を作って食べることにしました。この日の蕎麦は非常に美味しかったようで、彦七は「大慶大慶」と大変喜んでいました。素麺などは商人から購入していたようです。

どうやら当時の加子母では、『麺類』は節目や特別な日に食べられていたようです。普段の生活にアクセントをつけたり、ちょっとした変化をもたらすような食材だったのかもしれませんね。【文責本間】

参考文献：『四季折々の暮らしと文化―江戸時代の「かしも生活」』(中野剛) 書場買手著 徳川林政史研究所発行



第13回郡上おどりin京都/ぎふマルシェ @京都2023が開催されました

6月2日(金)、3日(土)の2日間、ゼスト御池河原町広場で岐阜マルシェを、京都市役所庁舎前広場で郡上おどりが京都岐阜県人会主催で開催されました。

京都岐阜県人会にとって最も大きな当イベントですが、コロナの影響で中止が続ぎ、今回4年ぶりの開催となりました。また、京都市役所庁舎工事で2016年以来会場を地下に移していたため、屋外での開催は実に7年ぶりの開催となりました。

おかげさまで2日間で延べ2000人を超える来場者が訪れ、好天に恵まれた市役所前広場では、初めて郡上おどりを体験される方も含め大勢の方に踊りを楽しんでいただけました。



郡上おどりin京都の様子

9月27日(水)〜28日(木)

連合会主催「ふるさと紀行」1泊2日東濃の旅」を開催します。

毎年恒例、ふるさと岐阜を巡る1泊2日の「ふるさと紀行」。今年は恵那、中津川方面を旅します。

詳細は、彩都やまもりHP (<http://yamamori.site/>)より確認下さい。QRコードからもご覧いただけます。



【行程】

9月27日 梅田(8時)↓近鉄竹田駅(9時)↓岐阜県庁新庁舎訪問・展望台見学(昼食)↓道の駅おばあちゃん山岡↓岩村城・城下町散策、岩村酒造蔵見学↓恵那峡温泉(泊)

9月28日 ホテル↓恵那峡遊覧船・大井ダム見学↓馬籠宿散策(昼食)↓中津川栗きんとん店↓近鉄竹田駅↓梅田(17時半予定)

【料金】約35000円

(参加者人数により多少前後します)

【申し込み・お問い合わせ】

関西岐阜県人連合会
事務局吉田(072-739-6046)まで